

和歌山盲学校 令和4年度 第2回学校運営協議会記録

開催日時：令和4年10月13日（木）13:30～15:30 和歌山盲学校会議室

出席者：委員7名（代理出席含む） 傍聴人（本校職員等）5人
（オンラインを併用しハイブリッド方式で実施）

【議題等】 ●報告「第1回会議以降の学校の取組について」
●議題1「地域と連携した取組について」

【内容】

●報告1 第1回会議以降の学校の取組について（会議録に基づき事務局から説明）

- ・夏期休業中に和歌山市内を中心に眼科や自治体の保健福祉部局を訪問し、理療専門部の啓発を実施した。また、8月に海南医療センター ロービジョン外来の担当医を訪問した。担当医から盲学校を見学させてほしいという声をいただいた。
- ・「盲学校を知らない」という意見をいただき、積極的に広報機関へ資料提供を行っている。

●議題1 地域とともにある和歌山盲学校をめざして

○小学校の事例から学ぶ

小学校では学校行事やゲストティーチャーとして「地域の人に学校にきていただく」取組や子どもたちが町のフラワータウン事業や地域のイベントに参加する取組を行っている。学校開放月間には地域の方に来てもらえるようにしているが、コロナ渦でできないこともあり、工夫しながら取り組んでいる。学校便りを毎月発行し、校長自らが地域へ配布している。町内では公民館に学校の情報を展示しているところもある。

（協議）

- ・野菜づくりなど、子どもたちが楽しみながら取り組める活動を教えてもらえればうれしい。今は難しいが、その野菜を炊き出しに使って、地域の人に食べてもらえたらと思う。
- ・地域で相談すれば、農家の人を紹介してくれると思う。以前、地域からはバザーの物品を寄付していた。今、取り組んでいる古着回収などは声をかければ持ってきてくれると思う。
- ・学校の情報を発信するには、回覧板やメディアを活用できるのではないか。学校のHPにももっと活動の様子を掲載してはどうか。
- ・回覧板で配布するには、自治会の総会で了承をもらっておく方がよい。

○盲学校として考えていること

盲学校のあるこの地域においてこそ、点字ブロックの大切さを啓発することが大切。最寄りのバス停の点字ブロックに雑草が覆被さっている。盲学校で除草させていただいてよいか。平成20年に、大災害時の覚書を学校と地域で締結しているが、この内容や経緯についても教えていただきたい。

（協議等）

- ・点字ブロックがはがれたりしているのは気づいた人が和歌山市へ申請している。バス停付近は私有地なので、確認する必要がある。
- ・除草は今コロナのため集まって作業はしていない。公園付近は自治会で行うので、教育の一環であれば生徒が参加してもよい。
- ・覚書は老人クラブとの連携で結んだ（避難所の紀伊小学校まで避難することが難しい人がいたため）

●その他

- ・きのくにアイねっとHPについて⇒委員からアイねっとを初めて知ったという意見があった。

【会議を終えて】

- ・会議の中で教えていただいた近隣の方やバス停付近や公園の除草について情報をいただいている。学校としてできることを今後も検討予定。